

事業シート(令和8年度予算)

事業名	21700 地籍調査事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	森林整備計画
					款	2	総務費			ポイント			
					項	1	総務管理費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約
					目	18	地籍調査費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業	

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 土地の実態の正確な把握や地籍の明確化により森林整備を円滑に行うとともに、境界紛争の未然防止に資する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その成果を地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)にまとめる 調査の成果(地籍図、地籍簿)を法務局に送付し、登記簿の修正と不動産登記法第14条の地図整備を行う
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
地籍調査実施面積	22,687ha		24,881ha

2.事業の実施結果等(Do)

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 地籍調査事業量(換算面積) $3.81\text{km}^2 \times 100 = 381\text{ha}$ (高山地域 0.58km^2 清見地域 0.45km^2 莊川地域 0.49km^2 久々野地域 0.66km^2 朝日地域 0.41km^2 高根地域 0.22km^2 国府地域 0.14km^2 上宝地域 0.86km^2)
------	--

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none">・第7次十箇年計画に基づき、計画的に地籍調査を推進するために必要な経費を計上
---------------------	--

評価第3章 実業家精神に向けた財源の確保を念頭に、地域上の調整を行っていく必要がある

計画策定 担当課	・有効な争求実施に向けて財源の確保を念頭に、地域との調整を行っていく必要がある。	
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・第7次十箇年計画に基づく地籍調査を推進し、進捗率を高める。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

評価等	
次年度 以降の 考え方 (担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	21810 森林づくり交流推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	森林整備計画
			款	2	総務費		ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり			
			項	1	総務管理費		分野別	政策分野	4	森林・環境・エネルギー		
			目	19	環境政策費		施設分野	(1)	森林政策			
担当課	森林・環境政策部 森林政策課	内線	2632							市長公約		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・幼児期から大人まで世代に応じた木育・森林環境教育により、森林に対し責任ある行動をとができる人づくりをすすめる。 ・都市部自治体との連携拡大により、森林整備によるカーボンオフセットや木材利用、普及啓発など、地球温暖化対策に資する森林づくりをすすめる。 ・森林環境譲与税の活用により、森林の有する公益的機能に関する普及啓発を図る。	概要	・保育園や幼稚園、小中学校等への出前授業による森林環境教育の推進 ・ひだ木遊館(西之一色町)を拠点とした全市域での木育イベント等の開催 ・千代田区との森林整備によるカーボンオフセットの取り組み、区市民の交流による森林理解の醸成 ・他の都市部自治体や企業との連携による森林づくりの拡大							

2.事業の実施結果等(Do)

新規・拡充	主な事業内容	R6			R7			(千円)		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)			
		29,860	24,077	33,470						
特定財源	国費 ()									
	県費 (環境保全林整備事業、森と水の環境教育推進事業 等)	6,000	4,845	6,700						
	その他(カーボン・オフセット事業費(千代田区))	1,250	1,466	2,250						
一般財源		22,610	17,766	24,520						
新規・拡充	主な事業内容									
	千代田区との協定による森づくり(カーボンオフセット)	7,500	7,018	6,000						
	千代田区との連携協定による交流事業の開催	1,750	1,641	4,000						
○	木育・森林環境教育の推進	9,600	4,937	8,000						
	ひだ木遊館を拠点に実施する木育推進事業への支援	11,000	10,471	15,000						

※下段は主な事業内容を抜き出したもので、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・千代田区との協定による森林整備(間伐 16.77ha) ・千代田区連携イベントの開催 7/4 ちよだ・たかやまの森交流ツアー(一之宮町) 千代田区民35人、高山市民25人参加 11/9 ちよだ環境フェアでの木育ワークショップの実施(千代田区) ブース来場者約200人 ・木育ワークショップ等による木育・森林環境教育の推進 9回 257人参加 ・ひだ木遊館木っずテラスを拠点に実施する木育活動への支援(R6入館者数 5,355人)	

評価等	・千代田区との協定に基づく森林整備については、生育状況を考慮した適切な森林整備によるカーボンオフセット事業を進めることができた。 ・千代田区連携交流事業では、高山市民と千代田区民の交流とともに、林業や木工体験により森林づくりの理解醸成が図られた。 ・11月にオープンしたひだ木遊館木っずテラスを拠点に木育活動の推進を図ることができた。	

次年度以降の考え方(担当課)	・千代田区との連携協定に基づき、森林整備や交流の活性化を図り、脱炭素社会の実現を目指す。 ・既に交流のある自治体との連携を促進する。 ・ぎふ木遊館サテライト施設を拠点とした、木育・森林環境教育を推進する。	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

目的	・幼児期から大人まで世代に応じた木育・森林環境教育により、森林に対し責任ある行動をとができる人づくりをすすめる。 ・都市部自治体との連携拡大により、森林整備によるカーボンオフセットや木材利用、普及啓発など、地球温暖化対策に資する森林づくりをすすめる。 ・森林環境譲与税の活用により、森林の有する公益的機能に関する普及啓発を図る。	概要	・保育園や幼稚園、小中学校等への出前授業による森林環境教育の推進 ・ひだ木遊館(西之一色町)を拠点とした全市域での木育イベント等の開催 ・千代田区との森林整備によるカーボンオフセットの取り組み、区市民の交流による森林理解の醸成 ・他の都市部自治体や企業との連携による森林づくりの拡大							

ひだ木遊館入館者数(累計)	総合計画等 主な指標		R6実績	R7実績	R11目標
	5,355人				55,000人
	「身の回りに木や森林に親しむ環境が整っている」と感じている市民の割合	63.7%			

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算	実施計画額		33,500	
	要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減(d)-(c)
34,540				1,070
7,200				500
2,085				△ 165
25,255				735
要求額	説明			
3,970				
4,000				
10,200				
16,000	ぎふ木遊館サテライト施設を拠点とした木育活動支援			

※入札に影響するため公開に適しないなど、記載省略(※)する場合があります。

事業実績	事業実績	

評価等	評価等	

次年度以降の考え方(担当課)	次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

財務部査定の考え方	財務部査定の考え方	

市長査定の考え方	市長査定の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・林道の計画的な維持・修繕を図る。	概要	・林道パトロール等を通じて林道破損箇所の情報を集め、修繕・機能強化を行う。
----	-------------------	----	---------------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
木材生産量	算定中		150,000m ³

2.事業の実施結果等(Do)

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・林道修繕工事 31件
	・林道管理委託 27件

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none">森林環境贈与税を活用した事業を実施適正な林道管理に必要な経費を計上

評価等

評価等	
次年度 以降の 考え方 (担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市の基本財産の造成、地域林業の振興、国土の保全等を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市有林を適正に管理するため、森林經營計画に基づき、間伐等の施業を計画的に実施する。 ・市有林を活用し、建設業者等の利用間伐に対する森林施業技術の向上を図る。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
木材生産量	算定中		150,000m ³

2.事業の実施結果等(Do)

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none">・間伐 11.07ha(一之宮)・作業道修繕 3件
------	--

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
------	--

担当課 予算要求 ポイント	・適正な市有林管理に必要な経費を計上
---------------------	--------------------

評価等	<p>・適正な施業により、基本財産の造成、地域林業の活性化が図られた。</p>
次年度 以降の 考え方 (担当課)	<p>・市有林の適正な管理方法について、林業事業体等への長期委託を進める。</p>

評価等	
次年度 以降の 考え方 (担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	53210 緑の保全事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	森林整備計画
			款	5 農林水産業費			ポイント			
			項	3 林業費		分野別	政策分野	5 産業労働プロモーション		
			目	2 林業振興費			施策分野	(1) 農業・林業・畜産業		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・必要な森林施業を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養機能の向上や木材利用の促進、災害に強い森林づくりを促進する。	概要	・間伐などの国・県が所管する造林補助事業に、嵩上げして助成 ・国県制度において、補助対象とならない規模の小さい森林施業に対して、市単独事業により助成					

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	(千円)					
	R6		R7			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
特定財源	66,150	57,514	36,750			
	国費（ 緑の保全事業費 1/2)	1,600	1,600	1,600		
	県費（ 緑の保全事業費 1/2)	6,500	2,857	5,550		
その他(緑の基金収入、緑の基金繰入金)		2,494	1,367	48		
一般財源		55,556	51,690	29,552		
新規・拡充	主な事業内容					
	間伐に対する助成	18,000	18,202	18,000		
	自伐林家型の森林整備に対する助成	5,000	1,157	4,000		
	間伐材利用に対する助成	12,000	11,003			
	未利用資源活用に対する助成	21,000	19,653			

※下段は主な事業内容を抜き出したもので、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 間伐事業 270.45ha 間伐作業道開設事業 5.594m 軽作業道開設事業 2.000m 間伐材利用促進事業 9,173m³ 未利用資源活用促進事業(集運型) 9,926m³ 自伐林家型地域森林整備事業 3.83ha 人工造林 12.60ha 下刈 36.69ha 森林整備地域活動支援事業 14.37ha(森林經營計画の作成促進)
------	--

評価等	<ul style="list-style-type: none"> 作業道を高密度に開設し、作業の効率化、間伐材の搬出、利用促進が図られた。 森林整備地域活動支援事業により支援することで森林經營計画の作成が促進された。
-----	--

次年度以降の考え方 (担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 緑の保全事業を継続し、森林經營計画による森林整備を促進する。 人工造林(植栽)施業を促進し、森林の公益的機能の向上及び脱炭素化を推進する。 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定
--------------------	--	--	---

総合計画等	主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
木材生産量		算定中		150,000m ³

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算	実施計画額	36,800
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額
36,650		
1,600		
4,850		
30,200		
要求額	説明	
19,000		
2,000		

※入札に影響するため公開に適しないなど、記載省略(※)する場合があります。

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
------	--

評価等	
-----	--

次年度以降の考え方 (担当課)	
--------------------	--

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 森林環境贈与税を活用した事業を実施 森林整備促進に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の考え方	
---------------	--

市長査定 の考え方	
--------------	--

事業シート(令和8年度予算)

事業名	53230 林業担い手育成事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2 地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	森林整備計画、高山市移住定住戦略
			款	5 農林水産業費			ポイント	(2) 地域の元気を支える未来の担い手づくり		
			項	3 林業費		分野別	政策分野	5 畜産・労働・プロモーション	市長公約	~農林畜産業に携わるなら「飛騨高山で」の地位を確立~ 農林畜産業における就業支援を強化
担当課	森林・環境政策部 森林政策課	内線	2631	目	2 林業振興費		施策分野	(1) 農業・林業・畜産業		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・林業等の担い手の確保・育成を図る。	概要	・移住者や県立森林文化アカデミー学生への市内就業支援による担い手の確保 ・林業や製材現場の見学などのインターナンシップ支援事業の実施による就業希望者と市内事業者とのマッチングの創出			

総合計画等	主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
森林技術者数	未確定		185人	
「地域を支える担い手を確保できる環境が整っている」と感じている市民の割合	27.2%			↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	(千円)					
	R6		R7			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
特定財源	4,148	2,368	6,498			
国費()						
県費(林業就業移住支援事業費 3/4)	1,500	1,200	1,500			
その他()						
一般財源	2,648	1,168	4,998			
新規・拡充	主な事業内容					
森林技術者の育成確保	248	248	248			
林業就業の促進	400	232	250			
林業担い手学生支援事業	1,500	288	1,500			
林業就業移住支援事業	2,000	1,600	2,000			
森の担い手マッチング事業			2,500			

※下段は主な事業内容を抜き出したもので、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・高山市での就業・起業意欲のある岐阜県立森林文化アカデミーの学生1名に対し、修学に必要な経費を補助した。 ・県外から高山市に移住し、林業事業体に就業した移住者2名に支援を行った。(単身及び世帯)	

評価等	・市内で不足する森林技術者等の確保に効果があった。	

次年度以降の考え方 (担当課)	・移住による林業就業への支援や、岐阜県立森林文化アカデミーの学生への修学支援、地元企業とのマッチングなどにより市内の林業技術者を含む森の担い手の確保を図る。	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定	次年度以降の考え方 (担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	事業実績	

評価等	評価等	

担当課 予算要求 ポイント	次年度以降の考え方 (担当課)	

4.令和8年度予算編成(Action)		(千円)	
		6,500	
R8予算	実施計画額	6,500	
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減(d)-(c)
6,198			△ 300
1,500			0
4,698			△ 300
要求額		説明	
248	県林業労働力確保支援センター負担金		
250	森林就業ガイダンス		
1,000	県立森林アカデミー学生に対する助成等		
2,000	林業就業移住者に対する助成		
2,700			

※入札に影響するため公開に適しないなど、記載省略(※)する場合があります。

財務部査定の考え方	・森林環境譲与税を活用した事業を実施 ・県立森林文化アカデミーの学生に対する就学支援に必要な経費を計上 ・移住による市内林業事業体への就業や森林技術者の確保に必要な経費を計上 ・就業希望者と求人企業とのマッチング支援に必要な経費を計上	

市長査定の考え方		

事業シート(令和8年度予算)

事業名	53240 林道整備事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
			款	5 農林水産業費			ポイント			
			項	3 林業費		分野別	政策分野	5 畜産・労働・プロモーション		
			目	2 林業振興費			施策分野	(1) 農業・林業・畜産業		
担当課	森林・環境政策部 森林政策課	内線	2234						市長公約	

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・旧線資源幹線林道(大規模林道)の建設促進を図る。 ・林道の早期完成を図る。 ・林道改良の推進を図る。	概要	・林道宮・高山線の整備にかかる負担金を支出する。 ・国県林道事業を活用し、林道の改良を実施する。					

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	(千円)					
	R6		R7			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
国費()	53,150	26,326	141,522			
特定財源 県費(林道改良事業費 1/2、6/10、2/3)	26,500	11,253	80,600			
その他(地方債)			28,000			
一般財源	26,650	15,073	32,922			
新規・拡充 主な事業内容						
林道橋りょう点検	9,500	5,146	5,200			
林道八幡・高山線・高山区間建設事業負担金	6,850	3,573	6,500			
林道改良工事費	23,500	4,587	119,000			
大規模林道賦課金元利補給金	429	428	411			
測量等委託費	10,000	9,790	8,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したもので、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・林道宮・高山線整備済延長 10,144m ・宮・高山線事業負担金の支払い (県事業費の5%) ・受益者組合への補助金交付 1組合 ・林道改良工事の実施 八日町線 L=11.0m ・林道橋りょう点検 12橋			
評価等	・林道宮・高山線は、森林整備の目的だけでなく、一之宮地域と高山地域を結ぶ基幹道としても期待されているため、早期完成を実現できるよう事業を進める。 ・林道の改良により、森林の整備及び通行の安全を確保することができた。			
次年度以降の考え方 (担当課)	・林道宮・高山線については、引き続き、県の代行事業による林道開設を進めよう。 ・安全な通行を確保するため、引き続き、計画的に林道改良や橋りょう点検等を行う。 ・林道橋の補修を行い長寿命化を進める。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定	次年度以降の考え方 (担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

総合計画等	主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
木材生産量		算定中		150,000m ³

4.令和8年度予算編成(Action)	(千円)
R8予算	実施計画額
要求額(d)	財務部査定額
41,833	市長査定額
	増減(d)-(c)
	△ 99,689
21,253	
	△ 59,347
20,580	
	△ 28,000
要求額	説明
4,200	
5,500	
20,000	
333	
9,000	

※入札に影響するため公開に適しないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・林道の改良及び開設に必要な経費を計上
財務部 査定の考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・保全機能の発揮される森林の整備とともに、森林の植生観察等を通じ、情操のかん養及び自然保护思想の高揚を図り、自然と共生する地域づくりに寄与し山林を市民の財産として将来に継承する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境保全林の活用による森林・林業への意識の醸成 ・生活環境保全林の整備による自然とふれあう場の整備
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
「身の回りに木や森林に親しむ環境が整っている」と感じている市民の割合	63.7%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none">・生活環境保全林の利用者数 120,532人・遊歩道等施設のある生活環境保全林(清見3箇所、莊川1箇所、朝日1箇所、高根1箇所、国府1箇所)について、利用者の安全を確保するため、定期的な点検や草刈り等の維持管理を行った。
------	---

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none">生活環境保全林の維持管理を行うために必要な経費を計上

評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道の管理や施設の修繕等適正な管理により、市民や観光客等に対し、安全に自然とふれあう場を提供できた。 ・老朽化する施設を計画的に修繕を行う必要がある。 ・利用者の増加に向けた普及啓発を強化する必要がある。
-----	--

評価等	
-----	--

財務部 査定の	
------------	--

次年度 以降の 考え方 (担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道等の適切な維持管理を行う。 ・計画的な施設の修繕を行う。 ・観光課所管の森林公園大倉滝廃止により、施設の一部を大倉地区(清見)の生活環境保全林として管理を行う。
----------------------------	--

次年度 以降の 考え方 (担当課)		<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定
----------------------------	--	---

考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	53260 100年先の森林づくり推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
			款	5	農林水産業費		ポイント					
			項	3	林業費		分野別	政策分野	5	畜産・労働・プロモーション		
			目	2	林業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業		
担当課	森林・環境政策部 森林政策課	内線	2631								市長公約	

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市内の森林を、森林環境譲り税を活用し、将来目標とする4つの姿(木材生産林、環境保全林、観光景観林、生活環境林)にあわせた森林整備を実施し、水源林の保全や災害に強い森林づくりなどの森林の有する公益的機能増進を図る。	概要	・森林推定地番図の作成により森林所有者等の特定を図り、個人所有の森林整備を加速化 ・広葉樹生産に向けた皆伐後の天然更新の状況や市有林の広葉樹等の資源量を把握 ・スマート林業の推進による生産性の向上を図る ・森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、境界の明確化、作業路の改良に係る経費に対する補助					

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	(千円)					
	R6		R7			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
特定財源	181,274	152,802	109,740			
	国費(森林整備地域活動支援事業費 23/100、観光景観林整備事業費 10/10 等)	2,200	5,937	2,200		
	その他(物品売払収入(広葉樹材))					
一般財源	179,074	146,865	107,540			
新規・拡充	主な事業内容					
	森林經營管理アドバイザー等の配置	30,640	26,562	30,640		
	森林情報管理システム構築、森林境界明確化の推進	44,000	39,104	22,000		
	森林資源等調査及び森林整備の推進	45,000	38,115	34,000		
	スマート林業の推進	5,000	876	3,000		
	作業道の修繕等に対する支援	26,000	24,557	20,000		
	市民等との協働による森林整備の促進、林業・森林の普及啓発	10,000	5,162			
○	広葉樹の活用促進事業					

※下段は主な事業内容を抜き出したもので、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	↓					
	・森林經營管理アドバイザー等の配置 3名 ・森林境界調査事業(滝町、丹生川町日面、国府町桐谷) 84ha ・森林推定地番図の作成 537ha ・重点区域森林整備事業 10.74ha ・林道機能強化 24件 ・市民提案型森林づくり推進事業 補助事業9件、委託事業3件 ・森林作業道維持修繕事業補助金 28件 ・スマート林業推進事業補助金 4件					

評価等	↓					
	・森林境界調査や森林推定地番図作成により森林所有者の特定や境界の確認が進んだ。 ・森林經營管理アドバイザーの助言指導により森林所有者の林業經營や森林管理への意欲向上が図られた。 ・重点区域森林整備事業などにより災害に強い森林づくりを推進した。 ・ICT機器の導入や高性能林業機械等の貸出支援などによりスマート林業が促進が図られた。 ・市民団体等の提案による森林づくりの促進が図られた。					

次年度以降の考え方 (担当課)	・森林整備や作業道等路網整備など、災害に強い森林づくりを行う。 ・県の支援が受けられない事業体に対し、高性能林業機械やICT機器の導入支援を行うことによるスマート林業を促進する。 ・広葉樹の資源量を把握するための市有林でのモデル調査を引き続き行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定	次年度以降の考え方 (担当課)	↓			次年度以降の考え方 (担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

総合計画等	主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
木材生産量		算定中		150,000m ³

4.令和8年度予算編成(Action)		(千円)
R8予算	実施計画額	109,800
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額
126,283		増減(d)-(c)
		16,543
2,710		510
2,790		2,790
120,783		13,243
要求額	説明	
30,640		
42,470		
26,800	重点区域森林整備、天然更新調査等	
3,000	スマート林業推進事業補助金	
16,000	森林作業道維持修繕事業補助金	
7,073	広葉樹整備事業	

※入札に影響するため公開に適しないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	↓					
	・森林環境譲り税を活用した事業を実施 ・森林經營管理制度により、森林の經營管理を円滑に行うために必要な経費を計上 ・重点区域森林整備事業など、災害に強い森林づくりに必要な経費を計上 ・スマート林業の推進に必要な経費を計上 ・日々野地域振興策に必要な経費を計上 ・森林推定地番図の作成に必要な経費を計上 ・市有林の広葉樹生産に向けた森林整備に必要な経費を計上					

財務部 査定の考え方	↓					
市長査定の考え方	↓					

事業シート(令和8年度予算)

事業名	53265 市産材利用推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	方向性			根拠計画	森林整備計画
			款	5	農林水産業費		ポイント				
			項	3	林業費		分野別	政策分野	5 畜産・労働・プロモーション		
			目	2	林業振興費			施策分野	(1) 農業・林業・畜産業		
担当課	森林・環境政策部 森林政策課	内線	2631							市長公約	農林畜産業において最強の産地、產品を創出します

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市産材(広葉樹材を含む)の利用拡大を推進する。	概要	・木造建築物の主な構造材への市産材の使用に対する補助 ・林地残材となっている未利用材の搬出経費への支援(委託、補助) ・県産直住宅協会への負担金 ・広葉樹の利用拡大を目的とした関係者研修会への共催負担金					

総合計画等	主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
市産材使用量	1,278m ³ /年		1,500m ³ /年	
「地元の農産物や木材が広く消費され、農畜産や林業が活性化している」と感じている市民の割合	49.0%			↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R6		R7				(千円)
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
			66,050				
特定財源	国費()						
	県費(市産材利用推進事業費 1/2)			1,500			
	その他()						
一般財源				64,550			
新規・拡充	主な事業内容						
	匠の家づくりに対する助成			29,700			
	みなど森と水ネットワーク会議負担金			50			
	広葉樹材利用の推進			300			
	未利用間伐材の搬出促進			2,800			
	未利用資源活用に対する助成			21,000			
	間伐材利用に対する助成			12,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したもので、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
------	--

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
------	--

4.令和8年度予算編成(Action)	(千円)		
R8予算	実施計画額	66,100	
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減(d)-(c)
61,510			△ 4,540
1,500			0
60,010			△ 4,540
要求額	説明		
25,000			
50			
300			
2,800			
21,000			
12,000			

※入札に影響するため公開に適しないなど、記載省略(※)する場合があります。

次年度以降の考え方(担当課)

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R6完了
- R7完了予定

次年度以降の考え方(担当課)		<input type="checkbox"/> 維持・改善
		<input type="checkbox"/> 拡大
		<input type="checkbox"/> 縮小
		<input type="checkbox"/> 廃止検討
		<input type="checkbox"/> R7完了
		<input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境譲与税を活用した事業を実施 ・市産材の利用促進を図るために必要な経費を計上 ・広葉樹の利用推進に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート(令和8年度予算)

事業名	53300 分収造林整備事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	方向性		根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
			款	5 農林水産業費		ポイント			
			項	3 林業費		分野別	政策分野	5 農産・労働・プロモーション	市長公約
			目	3 分収造林費			施策分野	(1) 農業・林業・畜産業	
担当課	森林・環境政策部 森林政策課	内線	2233						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	・公的造林資本による分収造林契約森林において、森林の現況調査により、間伐等の施業を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
木材生産量	算定中		150,000m ³

2.事業の実施結果等(Do)

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none">・保育間伐 18.01ha(一之宮地域,国府地域)・除伐 10.78ha(一之宮地域,国府地域)・搬出間伐 11.05ha(莊川地域)・路網整備 1,695m(一之宮地域,莊川地域)
------	--

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none">分収造林の整備に必要な経費を計上

評価等	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施業を実施することができた。 ・国立研究開発法人森林研究・整備機構(旧森林開発団体)又は県等と、分担造林地の効率的な管理
	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施業を実施することができた。 ・国立研究開発法人森林研究・整備機構(旧森林開発団体)又は県等と、分担造林地の効率的な管理

評価等	
-----	--

財務部

	次年度以降の考え方(担当課)	<p>・国等の補助制度を有効活用し、必要な施業を継続的に実施する。</p> <p>・国立研究開発法人森林研究・整備機構(旧森林開発公社)分収造林地の管理について、分収林契約を見直し、管理業務の委託化をすすめる。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了
--	----------------	---	---

次年度 以降の 考え方 (担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廉正検討 <input type="checkbox"/> R7完了
----------------------------	--

査定の考え方	
市長査定の考え方	